

ぶらり 諏訪塾 ⑦ 峠の諏訪側かつては別の道

杖突峠と聞くと、国道152号線を思い浮かべる人が多いと思いますが、昭和の初めまで峠頂上から諏訪側の道は別の道でした。その旧峠道の入口に石造りの道標が今も建っています。地図で見ると確かに峠頂上から最短距離で降りてこれらそうですが、遠目に旧峠道を見上げると、とても急峻な地形をしています。

この道標から旧峠道に入っていくと天狗山と呼ばれる小高い杜の先端に氷倉跡があります。天然氷を作るところをテレビで見ただけですが、そんな感じでしょうか。斜面を切り崩して氷倉とし、その前には水を張って氷を作

る池のようなものが見て取れます。

この氷倉を見下ろすようにイチイとトチノキの大木が隣り合うように立っています。どちらも御神木で根元に祠があります。イチイが守矢氏の祝神と天狗を祀り、トチノキが岩波マキの祝神を祀っています。この二大木のためか、まさに鎮守の杜といった雰囲気が出てきます。氷倉は藩御殿医の勧めで医療用に作ったと言われています。わざわざ2本の御神木の下に氷倉を作ったのは医療用ということと何か関係があるのかもしれませんが。

＝ 随時掲載
詳しい場所などの問い合わせは



かつて杖突峠の入口だったことを今に伝える道標



諏訪塾事務局 (電話070・8323・2107) へ。

ぶらり諏訪塾の冊子は

諏訪市観光案内所

(JR上諏訪駅内)

れすとらん割烹いすみ屋

(諏訪市諏訪)

書店「言事堂」

(諏訪市末広)

すわ大昔情報センター

(諏訪市博物館内)

諏訪書店 (通販のみ)

57・0997)

柏屋力フエ&ギャラリー

(諏訪市中洲神宮寺)

で販売中です。

今回の筆者



渡邊考洋さん